

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 5 月 28 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (5/28 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 2.0 m ³ /h	30.9	107.2 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.00 vol%
		給水系：約 4.4 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 6.0 m ³ /h	46.8	13.78 kPa g	A系:0.24 vol% B系:0.24 vol%
		給水系：約 3.0 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 5.0 m ³ /h	58.7	0.27 kPa g	A系:0.15 vol% B系:0.14 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			

*:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1号機】5/27 10:15 原子炉への注水量の低下が確認されたため、炉心スプレィ系からの注水量を約 1.9m³/hから約 2.0m³/hに調整(給水系からの注水量は約 4.5m³/hで継続)。

【3号機】5/27 10:08 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレィ系からの注水量を約 5.1m³/hから約 5.0m³/hに調整。

<2. 使用済燃料プールの状況> (5/28 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5
2号機	循環冷却システム	運転中	22.8
3号機	循環冷却システム	運転中	22.2
4号機	循環冷却システム	運転中	32

【3号機】・5/27 4:01 3号機使用済燃料プールの塩分除去装置にて警報が発生し、塩分除去装置が自動停止。現場を確認したところ、停止による水の漏えい等は発生しておらず、使用済燃料プール冷却系は停止していない。5/28 16:10 原因としては、電気透析装置内の不具合であることが、判明したことから、電気透析装置を切り離し、逆浸透膜ユニット単独での運転を開始。

【4号機】・5/26 11:00 頃より、4号機使用済燃料プールスキマサージタンクの水位が上昇傾向にあることが確認されたため、使用済燃料貯蔵プールで運転中の塩分除去装置(モバイルRO装置)の状態を確認。その結果、入口側流量計の不調が確認されたため、同日 15:21 に同装置を停止。流量計については修理を実施する事とし、スキマサージタンク水位の上昇については現在調査中。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	5/27 14:34 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	5/19 9:15 ~ 移送実施中

【3号機】・5/11~ 循環水ポンプ吐出弁ピット内にコンクリートを充填するため、同ピット内の溜まり水について、2号機タービン建屋地下への移送を適時実施中。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (5/28 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/5/27 11:00 頃 発電所西門に設置してある可搬型モニタリングポストについて、読み取れない事象が発生していることを確認。なお、11:00 以降のデータについては無線式のモニタリングポストシステムにおいて代替監視を継続しているため、データの監視に問題はない。その後、電源ケーブルのコネクタ部の端子で接触不良を確認したため、接続を復旧させたところ、14:25 同装置が復旧。14:30 より、同装置によるデータ計測を再開。

以上